

本研究内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について庄原赤十字病院倫理委員会の承認を受け、庄原赤十字病院長の許可を受けて実施するものです。(認証番号 7)

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。なお、協力いただかない場合でも患者様に不利益は一切ございません。

研究課題名	「糖尿病透析予防指導の開始から10年の検証」に関する研究
研究責任者	庄原赤十字病院 医療技術部 栄養課 管理栄養士 田中里実
協同研究者	庄原赤十字病院 看護部 看護師 鈴木陽子、谷中美恵、 俵 恵美、向井美紀、 松井理香、川東明美 庄原赤十字病院 腎臓内科 医師 本田清昌 本田由美 庄原赤十字病院 内 科 医師 鎌田耕治
研究指導者	庄原赤十字病院 糖尿病内科 医師 米田真康
本研究の目的	日本では 2022 年に、約 35 万人が透析治療を受けています。年 37000 人が新たに透析治療を初めていますが、その約 39%は糖尿病が原因です。糖尿病が原因の透析患者を減らすため、2012 年より「糖尿病透析予防指導」が新設され、当院でも医師、看護師、管理栄養士を中心に指導を行ってきました。 これまでの糖尿病透析予防指導が、腎機能の維持にどう関与したかを検証することを目的に、受診記録、検査や身体測定値を用いて、調査研究を行います。
調査データ該当期間	2012年～2024年3月31日
研究の方法 (使用する試料等)	1) 研究対象者 2012 年から 2018 年度に、当院で糖尿病透析予防指導を受けた、腎症 2 期以上の糖尿病治療中の方。 2) 研究期間 倫理委員会承認日～2026年3月31日 3) 研究方法 後ろ向き観察研究 これまで診察や検査、糖尿病透析予防指導時に計測した数値や、それに伴う情報を使用します。 4) 使用する情報の種類 HbA1c、eGFR、血圧、尿アルブミン/Cr 比、尿蛋白/Cr 比、腎症病期、体重、BMI、 病歴、服薬内容、糖尿病性網膜症、眼科受診歴、歯科受診歴、内視鏡検査歴、検診受診歴、透析導入時期、死因、死亡時年齢。

個人情報の取り扱い	この研究は、対象となる患者の権利を守るため、研究実施の適否について庄原赤十字病院倫理委員会の承認を受け、庄原赤十字病院院長の許可を得て実施します。また「ヘルシンキ宣言」および文部科学省・厚生労働省「人を対象とする医学系研究の倫理指針」を遵守して行います。
情報の保存	研究に用いるデータは、インターネットに接続されていない専用のパソコンでのみ保存し、バックアップは研究専用のUSBを用います。パソコンとUSBは栄養課内の施錠可能なキャビネットで保管します。研究の成果は、学会報告や学術論文で発表する予定ですが、研究対象者個人を特定される情報は発表しません。
費用負担について	この研究における、対象となる患者様の新たな費用負担はありません。
本研究の資金源（利益相反）	この研究における資金の受け入れ及び使用はありません。
お問い合わせ先	<p>この研究に関する質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書ならびに関連資料を閲覧することができます。</p> <p>また検査値などの数値や情報が当研究に用いられることについて、患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合は研究対象としますので、2024年12月27日までに下記までお申し出ください。申し出により、患者様に不利益が生じることはありません。申し出が無かった場合は、ご了承いただいたものとさせていただきます。</p> <p>〒727-0013 広島県庄原市西本町2丁目7-10 庄原赤十字病院 栄養課 管理栄養士 田中里実 TEL 0824-72-3111 FAX 0824-72-3285 E-mail : eiyoka@shobara.jrc.or.jp</p>